



学校通信

令和6年5月31日
東京都立葛飾盲学校長
岩下 桂郎
(第3号)

時（時間）を大切に

副校長 近藤 美紀

紫陽花の花が色づき始め、季節が春から初夏へと向かおうとしています。
毎年6月10日は「時の記念日」です。皆さんは「時の記念日」がどのような記念日か御存知ですか？

「時の記念日」とは、東京天文台（現在の国立天文台）と生活改善同盟が1920年に制定した記念日です。諸説ありますが、日本国民に、時間をきちんと守り、生活の改善・合理化を図ろうと呼びかけ、時間の大切さを尊重する意識を広めるために設けられた記念日と言われています。671年天智天皇が日本で初めて設置した水時計（漏刻）が時を刻み、鐘を打ちならしたということが日本書紀に書かれています。この日が旧暦の4月25日、現在の6月10日にあたり、記念日となったそうです。

学校は、時（時間）を知らせるためにチャイムが鳴ります。このチャイムをとおして子供たちは、時間を守ることの大切さ・時間を守って行動することの大切さを日々体験しながら学んでいます。集団生活を送るうえでは、時間を守らないと自分が困るだけでなく、一緒に行動する相手や、周囲の人に迷惑をかけることになります。ですから時間を守ることはとても大切なことです。そして、時間には限りがあります。限られた時間だからこそ、与えられた時間を大切に過ごしてほしいと願います。

1日24時間。皆さんはこの時間を、どのように大切に過ごしていますか？

「かつもう遊園地」

5月1日(水)、雨天のため遠足を中止し、体育館で「かつもう遊園地」をしました。幼稚部在籍親子と、乳幼児教育相談親子で活動しました。

前半は、体育館に設置されたたくさんの遊具で、親子で自由に遊びました。子供たちは、それぞれお気に入りの遊具を見つけたようで、とびきりの笑顔で楽しんでいました。後半は全員で集まり、自己紹介やくすぐり遊びをした後、みんなでお弁当を食べました。あいにくの天気でしたが、親子で素敵な時間を過ごせました。

(文責:林 鈴夏)

